

- 1 教育事業名 「とかしきボランティアスクール」 ～輝く瞳を見つけよう～
- 2 ね ら い これからボランティア活動を始めの方を対象にボランティア活動への理解を深め、ボランティア活動に向けた期待と意欲を高めるとともに、必要な基礎的知識・技能を習得させる。
- 3 期 日 平成28年5月28日（土）～29日（日）1泊2日
- 4 場 所 国立沖縄青少年交流の家
- 5 募集定員 30名程度
- 6 参加人数 13名
- 7 参加者内訳 高校生6名・大学生7名（男性1名、女性12名：県内13名）
- 8 講 師
 - ・音野太志氏（特定非営利活動法人沖縄ウォーターパトロールシステム）
実習「安全管理」
 - ・遠矢英憲氏（名桜大学上級准教授）
講義「青少年教育」
 - ・水澤豊子 国立沖縄青少年交流の家 次長
講義「青少年教育施設の現状と運営」
 - ・竹内弓人氏（法人ボランティア）
講義「ボランティア活動の意義」
 - ・國仲貴光 企画指導専門職
演習「青少年教育施設におけるボランティア活動」

9 実施プログラム

1 日 目			9:00		10:00 10:30	12:00	13:00				16:00	18:00 19:30	21:00		
			乗船	移動	開会	①講義	昼食	②海洋研修			③野外炊事		夕食	④講義	入浴
2 日 目	7:00	7:30	9:00	10:30	12:00	13:00	16:20	16:50	17:30	18:10					
	起床	つどい	朝食清掃	⑤講義	⑥演習		昼食	⑦演習		閉会	移動	乗船	解散		

10 事業の様子



講義「青少年教育」



演習：海洋研修



演習：海洋研修



演習：海洋研修



演習：野外炊事



講義：ボランティア活動の意義



講義「青少年教育施設の現状と運営」



朝のつどいでレクリエーション体験



演習：青少年教育施設におけるボランティア活動



演習：安全管理

11 エピソード（アンケート・参加者の感想）

- ・ボランティアの経験を様々な面で活かしていけるよう、前向きな気持ちを持って取り組んでいきたい。
- ・ボランティアを経験することで多くの知識を得て、自分自身も成長していきたい。
- ・体験活動という非日常の刺激によって子供達が成長し、それをお手伝いするボランティアはとても魅力的だと思う。
- ・ボランティア活動を通して学んだことは、日頃の生活にもきっと良い方向に働くと感じました。もっともっと知識を得て、頼られるボランティア生になりたい。
- ・ボランティアに参加することで、ボラ仲間や施設の方、参加者との輪が広がるので、積極的に頑張っていきたい。
- ・ボランティアを通して、新たな学びとか、自分を発見できると思うので、積極的に参加して

将来の職業につなげたい。

- ・ボランティアである私たちが楽しむことが大切。その楽しさを周囲に伝染、連鎖させるような活動を目指したい。
- ・ボランティアの一言で子供達のやる気を引き出すことができると分かった。子供達の立場になって声かけできるように頑張りたい。
- ・集団活動が苦手な人見知りだが、ボランティアを通して克服する気持ちで取り組んでいきたい。

12 担当者所見

(1) 成果

- ・講義や演習、参加者同士の交流を通して、青少年教育施設で実施される事業へのボランティアとして必要な基礎的知識・技能、コミュニケーション能力を身につけることができた。
- ・ボランティア活動への理解を深め、ボランティアの活動に向けた期待と意欲を高めることができ、今年度諸事業への意欲的なボランティア参加につながった。
- ・今年度ボランティアスクール参加者だけでなく、リーダーとして参加した同事業 OB の意欲を高め、今年度諸事業への意欲的なボランティア参加につながった。

(2) 課題

- ・青少年交流の家ボランティアとして実際の活動に結びつくよう、ボランティア同士、ボランティアと職員との連携を深めていきたい。
- ・自然体験活動指導者（NEAL リーダー）養成事業を視野に入れたボランティア養成事業開催に向け、開催日程、講義内容等に工夫が必要である。